

# 2008年度(平成20年度)の温室効果ガス排出量について

## 1 温室効果ガスの総排出量

- ・ 2008年度の温室効果ガス排出量は、78,389千トン(二酸化炭素換算)。
- ・ 前年度と比べると9.0%の減少。
- ・ 京都議定書の基準年度(原則1990年度)と比べ、1.8%上回っている。

表1 県内の温室効果ガス総排出量の推移

(単位: 千トン-CO<sub>2</sub>)

年度	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	基準年度比(%)	前年度比(%)
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	73,223	75,374	76,361	74,619	77,694	77,963	78,007	78,789	77,419	76,990	76,228	78,586	82,005	81,630	81,943	82,366	82,413	83,137	75,851	3.6	-8.8
メタン(CH <sub>4</sub> )	367	362	368	351	350	345	339	339	329	322	323	322	324	314	316	301	309	309	302	-17.6	-2.0
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	758	855	948	1,014	1,063	1,077	1,077	1,107	1,096	1,098	1,094	1,196	1,307	1,264	1,278	1,299	1,298	1,292	1,162	53.3	-10.0
ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	865	865	865	865	865	865	897	892	884	904	873	734	634	647	489	619	673	775	872	0.8	12.5
パーフルオロカーボン類(PFCs)	165	165	165	165	165	165	171	187	156	122	111	93	86	84	87	81	85	88	50	-69.7	-42.9
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,689	1,449	1,314	900	699	582	551	521	512	441	496	505	152	-90.7	-70.0
温室効果ガス総排出量	77,012	79,255	80,341	78,648	81,771	82,049	82,180	82,763	81,198	80,336	79,328	81,512	84,906	84,459	84,624	85,108	85,274	86,106	78,389	1.8	-9.0

※HFCs、PFCs、SF<sub>6</sub>の1990～1994年度の排出量については、1995年度の排出量を記載。

(注) 算定方法の見直し、過去の統計データの改訂に伴い、基準年度まで遡って排出量を算出

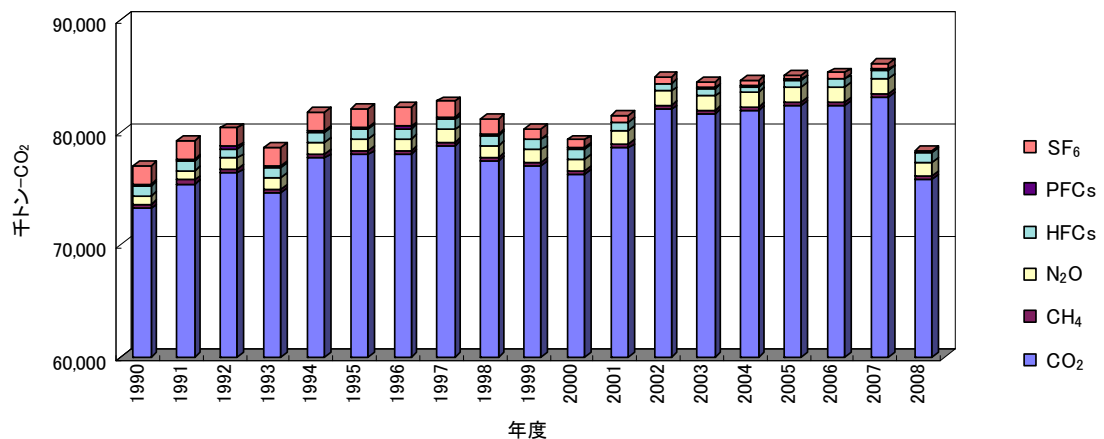


図1 温室効果ガス総排出量の推移

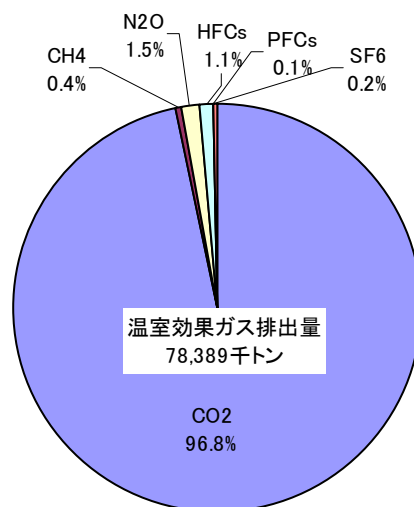


図2 温室効果ガス総排出量の内訳

## 2 各温室効果ガスの排出状況

### (1) 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

2008年度 75,851千トン (10.3トン/人)

基準年度比 3.6%増加(6.3%減少)

前年度比 8.8%減少(9.3%減少)

} ( )内は一人当たりの排出量

前年度からの減少は、主に、産業・業務・家庭部門の排出量の減少による。

表2 部門別二酸化炭素排出量の経年変化

年度		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	基準年度比(%)	前年度比(%)
エネルギー 起源 CO <sub>2</sub>	産業	42,898	43,826	43,515	42,068	42,382	42,450	42,354	43,195	41,553	40,377	40,445	41,334	41,974	43,266	43,998	43,926	43,111	43,837	39,090	-8.9	-10.8
	民生家庭	7,315	7,549	7,834	7,732	8,563	8,655	8,476	8,401	8,503	8,791	8,761	9,282	10,159	9,533	9,196	9,522	9,872	9,927	9,375	28.2	-5.6
	民生業務	8,387	8,650	9,021	8,556	9,916	9,787	9,887	9,799	9,899	10,418	9,814	10,520	12,066	11,127	11,138	11,550	12,206	12,200	10,566	26.0	-13.4
	運輸	11,041	11,579	12,040	12,353	12,683	12,931	13,211	13,280	13,541	13,610	13,544	13,668	13,694	13,495	13,198	12,638	12,260	12,080	11,825	7.1	-2.1
	燃料転換	1,481	1,558	1,749	1,709	1,946	1,880	1,786	1,745	1,621	1,567	1,409	1,577	1,956	1,818	1,920	2,123	2,203	2,293	2,184	47.4	-4.8
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	2,099	2,211	2,201	2,201	2,206	2,261	2,292	2,370	2,302	2,227	2,255	2,204	2,155	2,390	2,492	2,607	2,761	2,800	2,810	33.9	0.3	
二酸化炭素 総排出量	73,223	75,374	76,361	74,619	77,694	77,963	78,007	78,789	77,419	76,990	76,228	78,586	82,005	81,630	81,943	82,366	82,413	83,137	75,851	3.6	-8.8	

### ア 各部門の排出量について

#### ○産業部門(工場等)

基準年度比で8.9%の減少、前年度比で10.8%の減少。

前年度からの減少は、景気悪化による生産量の減少に伴う、製造業からの排出量が減少したこと等による。

#### ○家庭部門

基準年度比で28.2%の増加、前年度比で5.6%の減少。

前年度からの減少は、電気使用量の削減、電力量当たりのCO<sub>2</sub>排出係数の低下等による。

#### ○業務部門(オフィス・店舗等)

基準年度比で26.0%の増加、前年度比で13.4%の減少。

前年度からの減少は、電気使用量の削減、電力量当たりのCO<sub>2</sub>排出係数の低下等による。

#### ○運輸部門(自動車・船舶等)

基準年度比で7.1%の増加、前年度比で2.1%の減少。

前年度からの減少は、燃費の改善に伴う燃料消費量の減少等による。

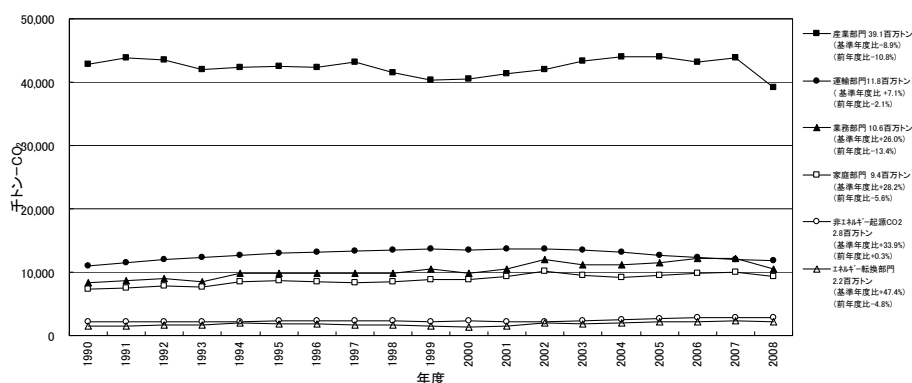


図3 部門別二酸化炭素排出量の経年変化

## (2) メタン(CH<sub>4</sub>)

2008年度のメタン排出量は302千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると、17.6%減少し、前年度と比べると2.0%減少した。前年度からの減少は、主に、産業部門における燃料の燃焼の減少、森林草地の転換の減少による。

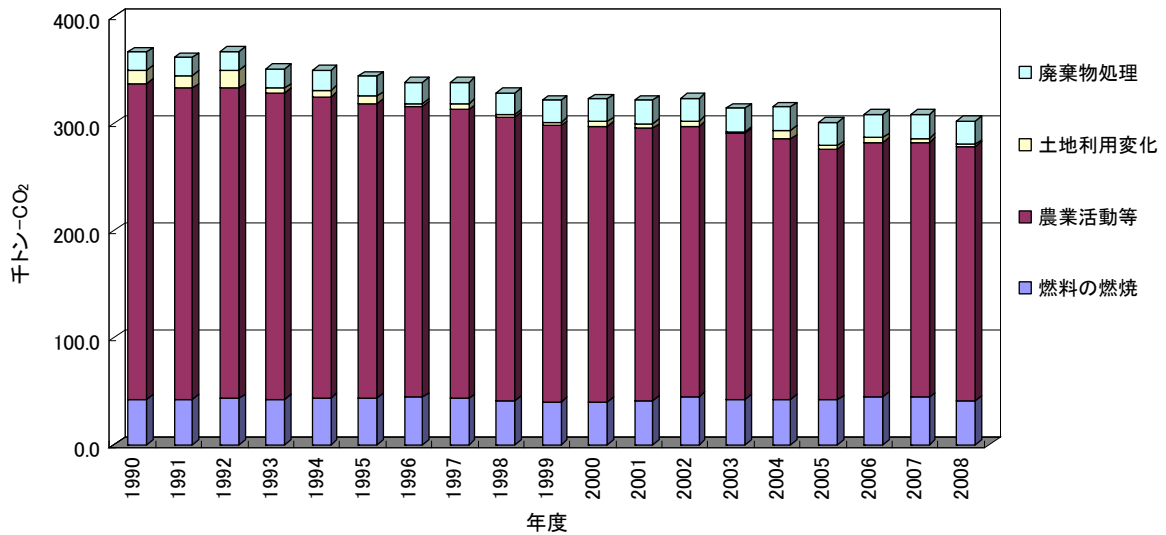


図4 メタン排出量の推移

## (3) 一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)

2008年度の一酸化二窒素排出量は1,162千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると、53.3%増加し、前年度と比べると10.0%減少した。前年度からの減少は、主に、産業部門における燃料の燃焼の減少による。

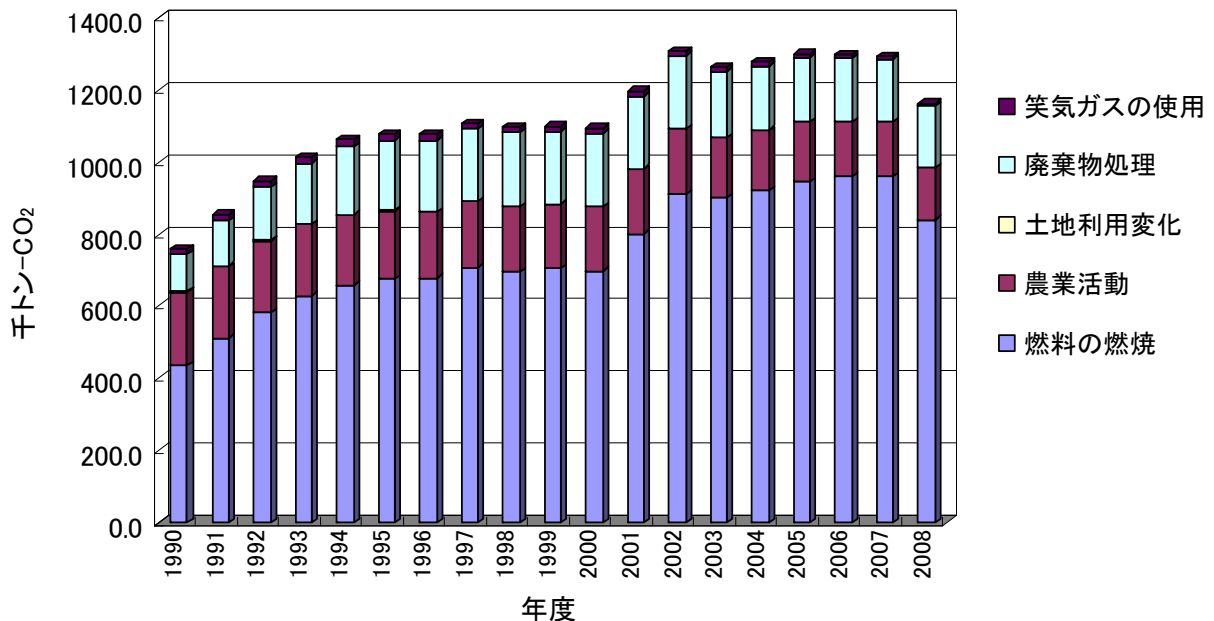


図5 一酸化二窒素排出量の推移

#### **(4) ハイドロフルオロカーボン (HFCs)、パーフルオロカーボン (PFCs)、六フッ化硫黄 (SF<sub>6</sub>)**

2008年度のHFCs排出量は872千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると、0.8%増加し、前年度と比べると12.5%増加した。

PFCs排出量は50千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると、69.7%減少し、前年度と比べると42.9%減少した。

SF<sub>6</sub>排出量は152千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると、90.7%減少し、前年度と比べると70%減少した。

代替フロン等3ガス全体では、基準年度と比べると、59.7%減少し、前年度と比べると21.5%減少した。